

民主島根

2018年
4.29
第1310号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

国民だますな！まともな政治を市民の手で！

アベ政治を終わらせよう

しまね総がかり 市民と野党4党が集会・デモ行進



「安倍内閣は総辞職」「政治の私物化許せない」とコールしながらデモ行進する参加者（松江市）

しまね総がかり行動実行委員会は19日、松江市で集会を開き、約120人が参加しました。市民と野党の代表がそろい、共闘の力で安倍内閣を総辞職に追い込む決意を固めました。デモ行進に飛び入りで参加する人もいました。



と訴えると、参加者から何度も「そうだ」の声が上がりました。日本共産党の後藤勝彦県委員長、民進党県連の大平前衆院議員が松江・出雲の大学前で宣伝

7日、島根県入りしました。民青同盟員らと大平喜信衆院議員が松江市と出雲市の大学前など計5カ所で行った。青年の切実な願いを実現するため政治を変えよう」と訴えました。（写真）

松江市の島根大学前で大平氏は「若者が自らの夢を実現できる社会にするため、政治の現場からみなさんを後押ししていきたい」と力を込めました。尾村利成県議、岩田剛東部地区委員長が同行しました。

出雲市の県立大学前では吉井安見民青県委員長が「安心して進学・就職

角智子県議、社民党県連合の細田実幹専任が訴え、立憲民主党の亀井亜紀子衆院議員からメッセ

「被災者の生活再建を急げ 党県議団が県へ要請

津和野 寺戸まさ子さん、再選 無投票で党1議席を確保

党参院議員 岡山大学大学院教授
紙 智子 VS 小松泰信
ビッグ対談

5月19日(土)
午後1時30分～4時

岡山国際交流センター 国際会議場2F
(岡山市北区奉還町2丁目2番1号)

【挨拶】 参院議員 **仁比聡平**
【司会】 前衆院議員 **大平喜信**

● **小松泰信**
岡山大学大学院環境生命科学研究科教授。
昨年1月の党旗開きで志位委員長から「隠れ共産党」として紹介され、一躍有名に。農民連の学習会講師などで大活躍。

● **紙 智子**
日本共産党参院議員・農林水産委員会理事。
日本共産党常任幹部会委員。党農林・漁民局長。

主催：日本共産党国会議員団中国ブロック事務所
日本共産党岡山県委員会

鼓動 「いまだかつて、こんな政権があったのだろうか」――誰もがこう考えるほど、疑惑が「底なし」に噴出している。公文書改ざん、森友・加計疑惑の真相隠し、自衛隊日報隠し、財務省セクハラ問題……。どれをとっても、政権が吹き飛ばすほどの大問題だ。▼セクハラ問題は、発言そのものもひどいが、財務省の対応もひどすぎる。麻生財務相は「福田の人権はなし」と、辞任表明した福田次官をかばい、被害者に名乗り出るよう求めた。政府自身がセクハラを二次被害を生みだしている。あきれるほかない▼こんな状況になっているのに、大臣は誰一人責任をとろうとしない。最高責任者の安倍首相も、ただ逃げ回っている。どの問題も根源には強権、国政私物化の「アベ政治」がある。内閣総辞職こそ必要だ▼「アベ政治」の行きつく先がどうなるか。そのことを予感させる2つの重大発言があった。下村元文科相はセクハラ被害者を「ある意味犯罪だ」と思っている。また自衛隊の日報が隠ぺい問題になっている。幹部自衛官が野党議員に「おまえは国民の敵だ」とと暴言を浴びせた▼政権に物申すと、権力者から「犯罪者」「敵」とよばれる社会。国民を戦争に駆り立てた戦前のような日本に戻すわけにはいかない。先日亡くなったアニメ監督の高畑勲さんの言葉が胸に刺さる。「うかつでしたね。僕らがうかつで、日本をまた戦争のできる国」にしてしまった（日曜版22日号で大林宣彦さんが紹介している言葉）。あとで「うかつだった」と後悔しないように、大いに声をあげていきたい。

(後)